

投資家がとらえておきたい



# おカネの流れ

賢者のマーケットインサイト

日経OP売坊さん



# 投資戦略フェア EXPO 2023



相場師朗



荒野浩



安藤希



石原順



井村俊哉



岩本祐介



ABC Trader



エミン  
・ユルマズ



大橋ひろこ



岡村友哉



叶内文子



岐阜暴威



Ken



小次郎講師



坂本慎太郎  
(Bコミ)



JIN



田代岳  
(YEN蔵)



たけぞう



たぼぞう



DAIBOUCHOU



テスタ



DUKE。



中原圭介



成田博之



日経OP売坊



バカラ村



羽根英樹



林則行



陽和ななみ



みのう



むらやん



守屋史章



ヤーマン



夕凧



分林里佳

特設サイトからメール登録で各講演の予約を受付中！





## パシフィコ横浜ノース【C会場】 10時～ 「米国株のW配当貴族」

講演内容（予定）

- 米国株OPを使った「回転（ホイール）戦略」
- 日米株「ボラティリティのお告げ」は
- 注目したい日米「最新」投資環境

C会場

10:00 - 11:00 

日経OP売坊

特設サイト  
で予約  
受付中！





# 日経225オプショントレード入門セミナー

3月25日（土）10時～（オンライン開催）

不透明な時代、225OPで運用の幅を広げてみたい方のために

**早期割引中 ～ 2月28日まで50%OFF！！～**



- 入門戦略「日経225CALL売りトレード」の優位性と心構え
- 最適な権利行使価格を選ぶコツ
- 警戒すべき局面とは
- 最新の日米市場分析
- 補完戦略「日経225OP買いトレード」の勘所

*Find Your Options*

**オプション倶楽部**

**検索**



# 【オプション倶楽部】 OP売坊戦略コース



資産運用の達人と一緒に目指しませんか？

**早期割引中！  
充実の180日間（2023年4月～2023年9月末）  
募集20名限定**

99%の確率で年率15%の収益を安定的に稼ぐことを目的としています。  
成功へのカギは確率統計とリスク管理だけ！（エクセルシート付き）

<実践を支える7つの教材>

1. 学習プログラム（動画：全7編66回）
2. 週次レポート（日本株市場・米国市場分析など）
3. 月次セミナー（オンライン生配信とオンデマンド配信）
4. アラートメール（暴騰・暴落注意報など）
5. 個別質問掲示板
6. リスク管理エクセルシート
7. 入門テキスト（PDF）

*Find Your  
Options*

**オプション倶楽部**

**検索**





## 『賢者のマーケットインサイト』資料

2023年2月22日放送分

【オプション倶楽部】OP売坊戦略コースでは  
2023年4月開講の新規会員を募集します（第6  
回・6カ月間）。それに際して3月25日（土）  
10時にオンラインで入門セミナーを開催予定！  
詳細は倶楽部サイト「[optionclub.net](http://optionclub.net)」をご覧ください。  
「OP売坊戦略」で検索！

- この資料は、ファイナンシャル・リテラシーの向上のみを目的として作成されたものです。
- したがって、いかなる投資勧誘の目的で作られた物ではありません。
- この資料での数値などにつきましては、信頼できる筋からの情報に基づいておりますが、その正確性を保証するものではありません。
- 投資につきましては、あくまで、自己責任でお願い申し上げます。
- 日経OP売坊は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。



日経OP売坊

# 2023年3・4月限SQ日までの注目イベント (P.2)

## <米国>

- 2月22日：FOMC議事録
- 3月10日：雇用統計（2月分）
- 3月14日：消費者物価指数（2月分）
- 3月22日：FOMC政策金利
- 3月17日：メジャーSQ
- 4月07日：雇用統計

## <欧州・英国>

- 3月16日：ECB政策金利
- 3月23日：英国政策金利

## <日本>

- 2月24日：消費者物価指数（1月分）
- 3月10日：メジャーSQ
- 3月10日：日銀金融政策決定会合
- 3月15日：日銀議事要旨（1月18日分）
- 3月24日：消費者物価指数（2月分）
- 4月08日：黒田日銀総裁任期満了

生活費の上昇が米国家計にかなりの圧力となっています。そのためクレジットカード残高も過去最高に膨れ上がりました



※SQ日は期近（月次・週次）の未決済建玉が清算されるためオプショントレーダーにとって区切りとなる日です。

### 2023年 2月

12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

※2月23日と3月21日に祝日取引が実施されます。

### 2023年 3月

				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					

※3月11日『投資戦略フェア』@横浜で、3月25日にオンラインでセミナーがあります。

### 2023年 4月

						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	

※3月22日のラジオNIKKEI『賢者のマーケットインサイト』に出演予定です。

日経225週次オプションのSQ日
日経225ミニ先物・月次オプションのSQ日
メジャーSQ 日経225先物・ミニ先物・月次オプションのSQ日

注) 予定は予告なく変更される場合があります。  
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから管理人作成

※『OP売坊公式ツイッター (@OP49431790)』でもニュースについてつぶやいています。ご参考になれば幸いです



## OP売坊の**グレイ・リノ** (P.3)

サイは普段おとなしいが  
怒ると、とっても怖いのだ

- 🐘 気候変動による食料価格高騰・危機
- 🐘 地政学的リスク (中国の台湾侵攻懸念) [👉P5]
- 🐘 日米欧でスタグフレーション (景気後退+インフレ) 確定か？
- 🐘 日米欧中の経済政策の不確実性
- 🐘 米国インフレの高止まり [👉P7]
- 🐘 FRB金融政策 [👉P6~9] と日銀YCCの限界
- 🐘 米国の長短金利動向
- 🐘 高利回り債 (ジャンク債) 市場の崩壊
- 🐘 悪い円高と新興国の財政問題
- 🐘 金利上昇による資産・資産圧縮の株式への影響
- 🐘 暗号通貨市場の崩壊
- 🐘 日本の2023年・2024年・2025年・2030年問題 [👉P10]
- 🐘 バフェット指数 (株式時価総額÷名目GDP) の異常値
  - 米国：156.9 (2月16日概算)
  - 日本：127.4 (2月16日概算)



日本銀行の新総裁が  
波乱要因となる可能性  
は高いと考えています。  
いずれにせよ、日銀のYCC  
(利回り曲線操作) は限界に  
きているとみています

など

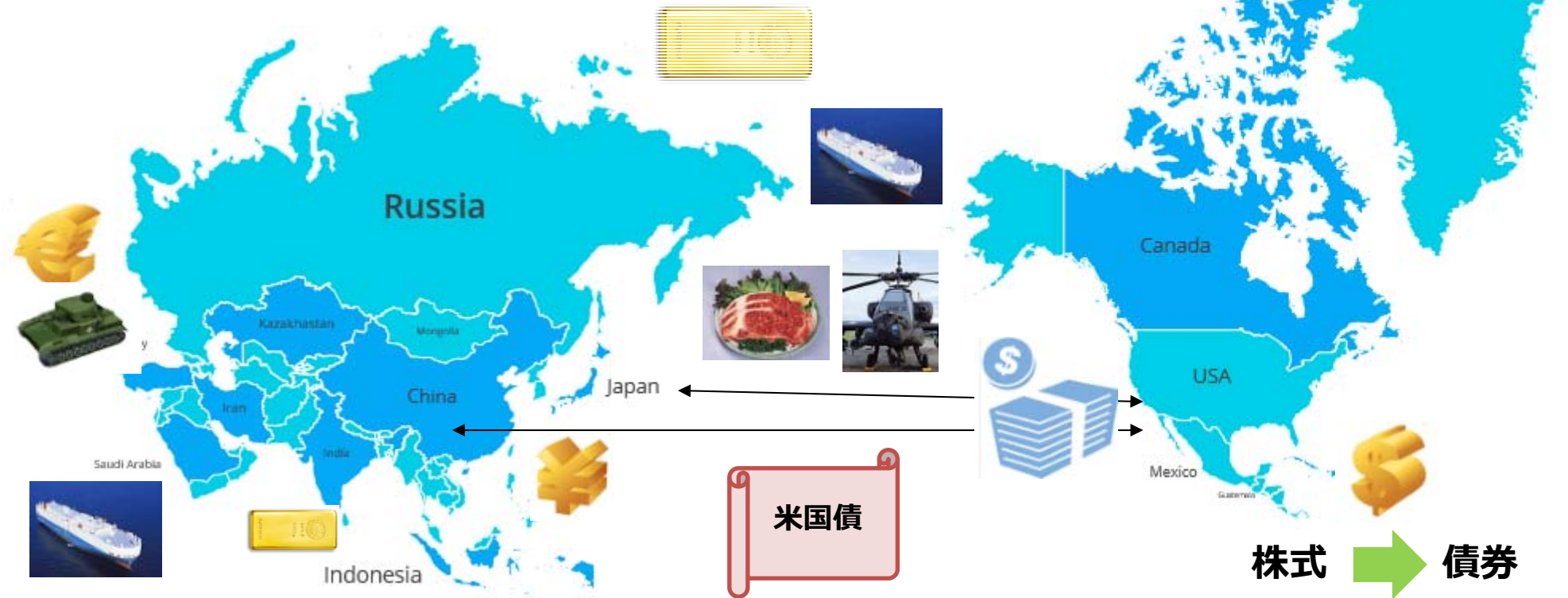
グレイ・リノ (灰色のサイ) とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが**起これば大きな値幅が出る**ため、OPトレーダーに重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。





# 大きな「おカネの流れ」をつかもう (P.4)

## 大きな変化はないか？



「¥」マークは日本円だけでなく中国人民元も指しています。マクロ的な大きな視点で見て、どこからどこにおカネが流れているのかを把握することが投資家や運用者には重要だと考えています

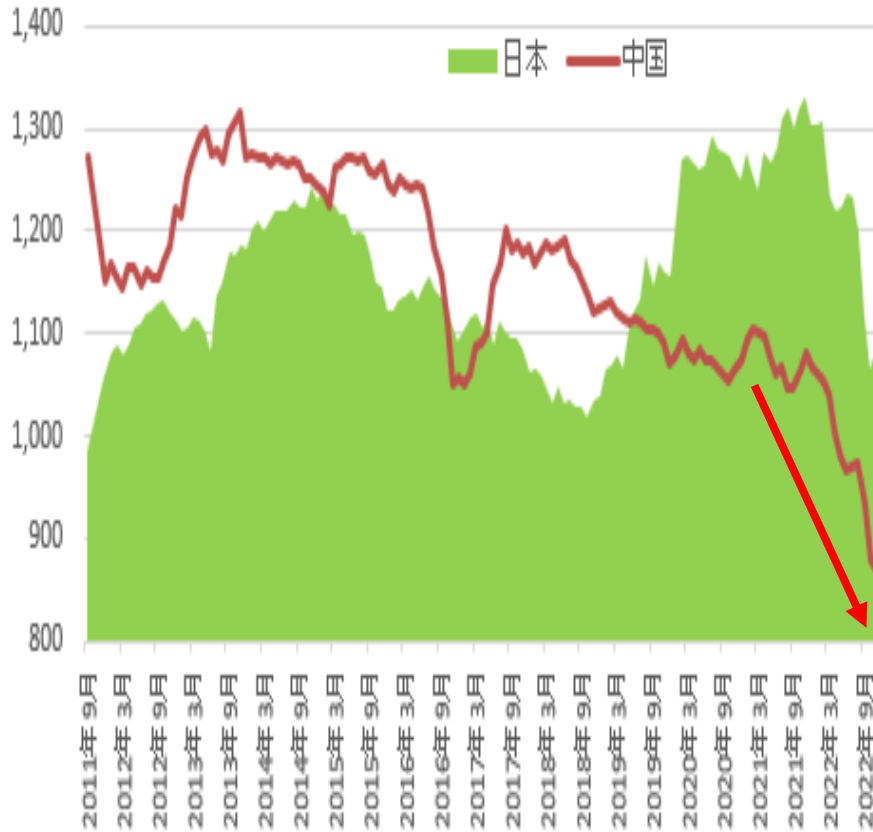


金市場や米国債市場でのおカネの流れの変化が米中緊張度、中国の台湾侵攻の本気度を表しているとも考えられます



# 中国が米国債の保有を減らし、金を買っている (P.5)

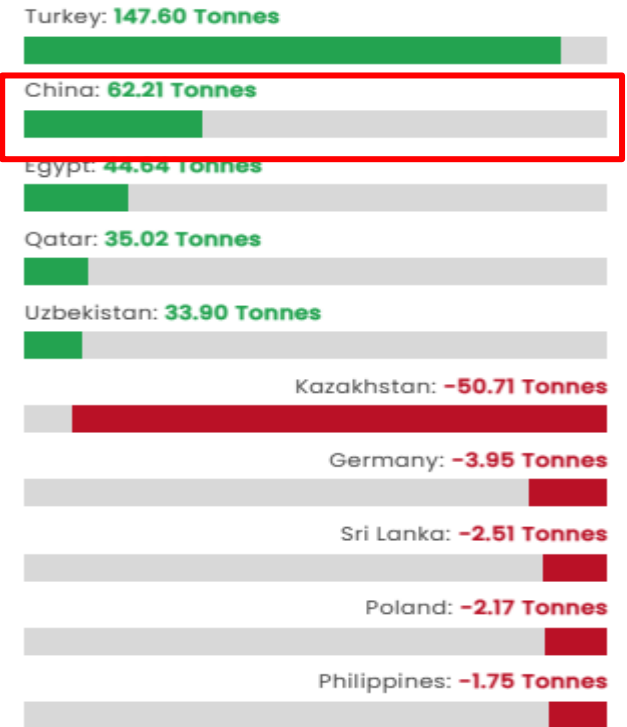
### 日中の米国債保有残高 (億米ドル、2023年11月)



### 中央銀行金保有率 (左) と増減額 (右) (2022年)

順位 (2022年末)	トン
1 米国	8,133.5
2 ドイツ	3,355.1
3 IMF	2,814.0
4 イタリア	2,451.8
5 フランス	2,436.8
6 ロシア	2,298.5
7 中国	2,010.5
8 スイス	1,040.0
9 日本	846.0
10 インド	787.4

### Largest increases / decreases



出所) FRB

中国が返済を最小限に抑えるため、時間をかけて米国債を売って資金を引き上げ、金に変えているのが、ひとつの仮説です

出所) World Gold Council



中国が外貨準備を米ドルから金に移行している可能性が高いと考えています



# 米国は米ドルの信認を保てるか？ (P.6)



ドルユーロにしたのは、ドル高（ドル安）を他通貨と同方向にそろえるためです。米国にとって「これ以上のドル安は看過できない」と考えています。中露の思うつぼだからです



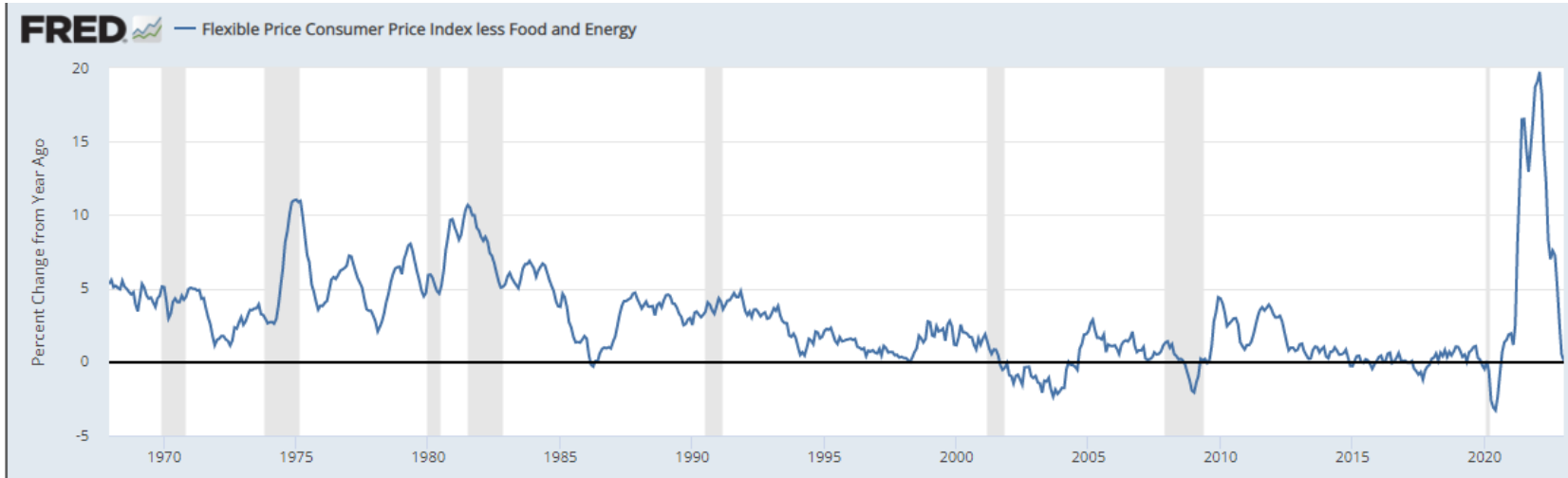
ドルルーブルが1年前のロシアによるウクライナ侵攻時の水準に戻ってきていると分かります





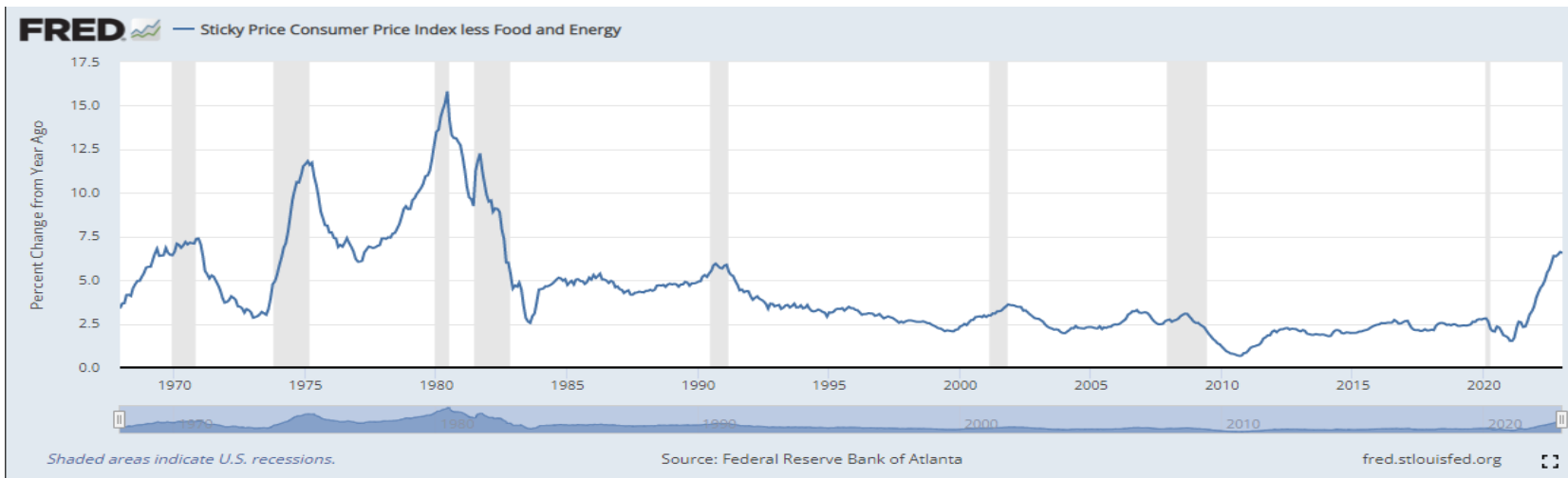
# 米粘着価格CPIは高止まり (P.7)

## Flexible-Price (弾力価格) CPI : 価格が柔軟な品目



弾力価格がCPI（消費者物価指数）の下押しを示唆する一方で、粘着価格CPIが高止まりを示唆しており、全体的には下げ止まると考えています

## Sticky-Price (粘着価格) CPI : 食糧やエネルギーなどを除いた価格の粘着性が高い品目 (家賃など)



むしろ弾力価格の反発に警戒すべきですし、ガソリン価格など、すでに反発してきているものもあります

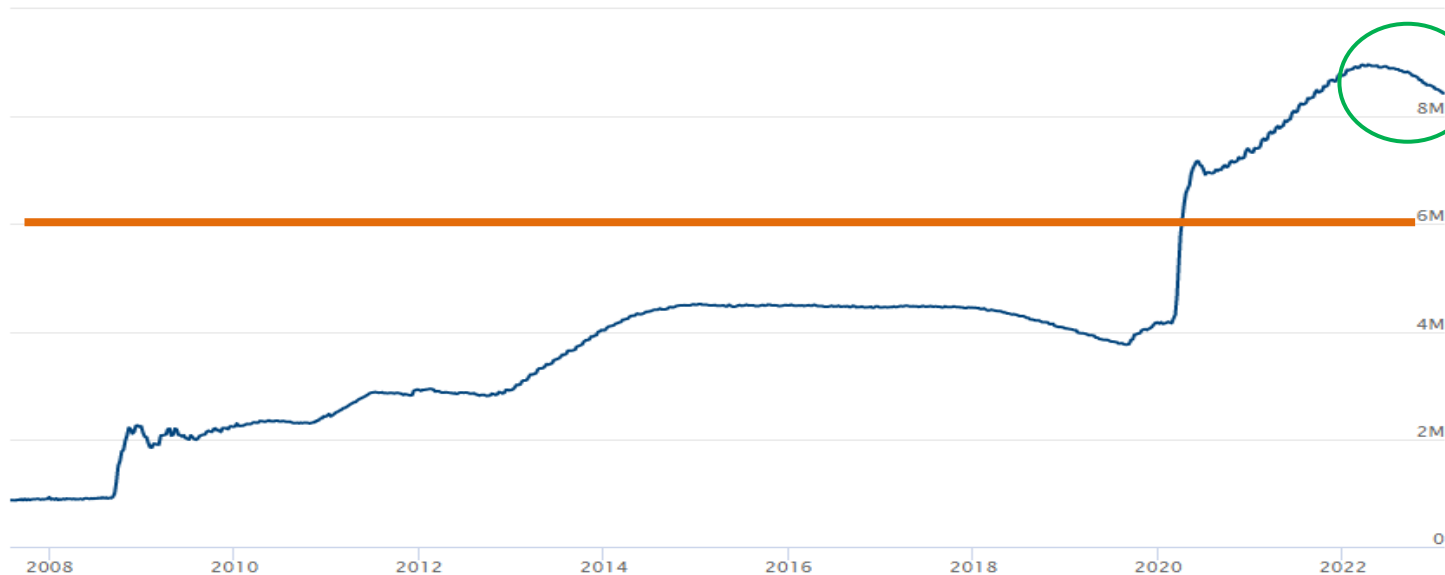




# FRBのBS圧縮はまだ始まったばかり (P.8)

## FRB (米連邦準備理事会) の資産残高 (兆ドル)

Jul 30, 2007 - Feb 7, 2023



FRBのバランスシートの適正レベルを米国GNP (2021年末は22.9兆ドル) の30%程度と想定すると、3兆ドル規模の資産縮小が必要となります。赤線はそのレベルを意識して引いたものです



### 3月FOMC時のFF金利見通し (2月17日現在)

TARGET RATE (BPS)	PROBABILITY(%)			
	NOW *	1 DAY 16 2 2023	1 WEEK 10 2 2023	1 MONTH 17 1 2023
450-475 (Current)	0.0%	0.0%	0.0%	19.2%
475-500	84.9%	84.9%	90.8%	76.6%
500-525	15.1%	15.1%	9.2%	4.2%

\* Data as of 17 2 2023 04:51:25 CT

### 7月FOMC時のFF金利見通し (2月17日現在)

TARGET RATE (BPS)	PROBABILITY(%)			
	NOW *	1 DAY 16 2 2023	1 WEEK 10 2 2023	1 MONTH 17 1 2023
425-450	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%
450-475 (Current)	0.0%	0.0%	0.0%	21.7%
475-500	0.0%	6.9%	8.9%	47.8%
500-525	34.6%	35.4%	44.5%	25.0%
525-550	48.2%	44.2%	39.4%	2.6%
550-575	15.6%	12.4%	6.9%	0.1%
575-600	1.5%	1.0%	0.3%	0.0%

\* Data as of 17 2 2023 04:53:57 CT



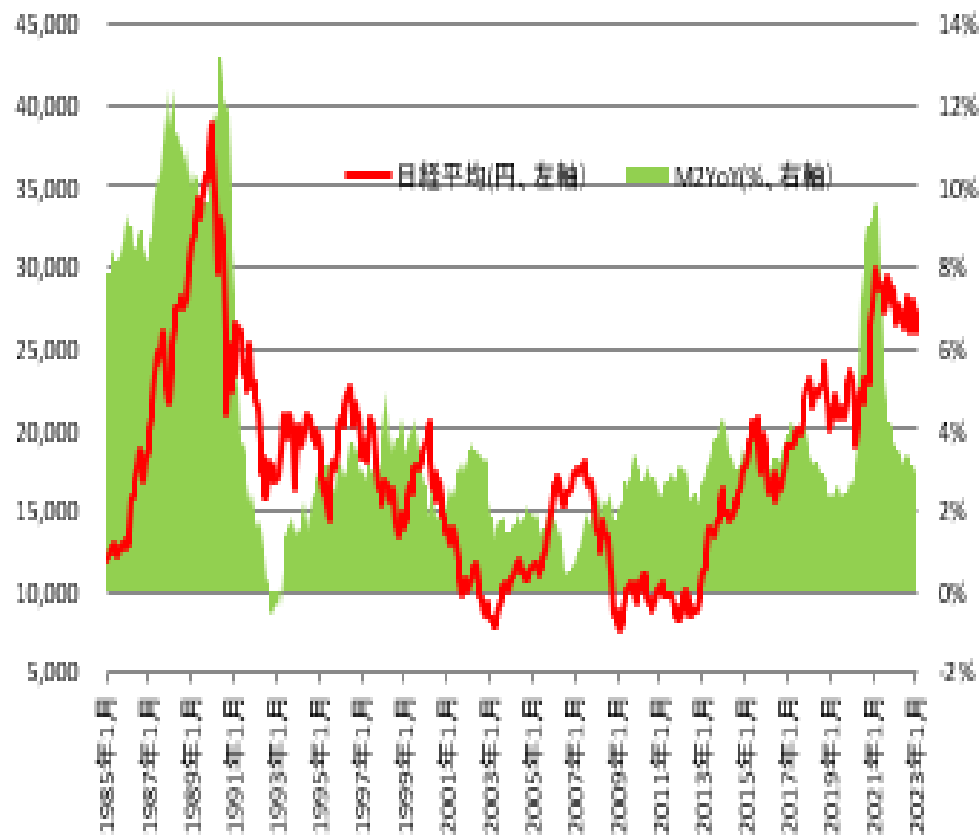
# 日米マネーの動きに明らかな変化が (P.9)

M2 (通貨供給量:マネーストック) = 現金通貨 + 預金通貨 + 準通貨 (定期預金など) + CD (譲渡性預金)

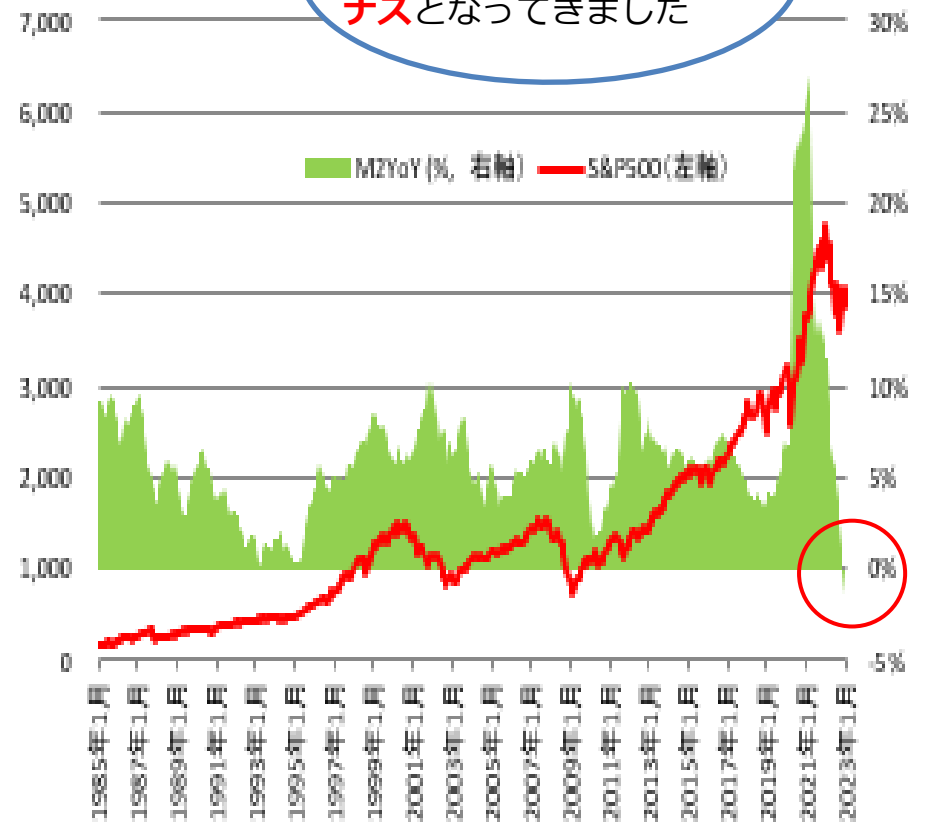
※預金通貨・準通貨・CDの発行者は国内銀行など



## <日本>



## <米国>



出所) 日本銀行、FRB、ブルームバーグ等より筆者作成 (日本 : 2023年 2月、米国 : 2023年 1月)





# 様変わりする日本の立ち位置 (P.10)

## < デジタル競争ランキング >

	2022年	2021年
デンマーク	1	4
米国	2	1
シンガポール	4	5
韓国	8	12
日本	29	28

出所) シェア口から筆者作成

## < 日本の労働生産性 >

		OECD	
時間当たり	\$49.90	27位	38か国中 (2021年)
一人当たり	\$81,850	29位	38か国中 (2021年)
製造業	\$92,993	18位*	35か国中 (2020年)

出所) 公共財団法人 日本生産性本部  
注) 2000年は1位だった

## < 安全指数 >

1	アブダビ(UAE)
2	ドバイ(カタール)
4	台北
7	ドバイ(UAE)
16	香港
30	チェンマイ(タイ)
32	東京
35	ソウル(韓国)
106	大阪

出所) [https://www.numbeo.com/crime/rankings\\_iso?title=2023&disolawColumn=1](https://www.numbeo.com/crime/rankings_iso?title=2023&disolawColumn=1)

## ソブリン債 (国債・政府機関債) の信用格付け

	S&P	Moody's	Fitch
シンガポール	AAA	Aaa	AAA
ドイツ	AAA	Aaa	AAA
カナダ	AAA	Aaa	AA+
米国	AA+	Aaa	AAA
欧州連合	AA	Aaa	AAA
イギリス	AA	Aa3	AA-
フランス	AA	Aa2	AA
韓国	AA	Aa2	AA-
中国	A+	A1	A+
日本	A+	A1	A
イタリア	BBB	Baa3	BBB
ロシア	NR	NR	NR

格付けが日本国債の市場価格 (利回り) に反映されていないのは、日銀が爆買いをしているからだと考えています。日銀のETF買いとYCCで日本の金融市場はかなり歪んでいるといわざるを得ません

## < 時価総額比率 >

	2009年末	2022年末
米国	41.0%	59.0%
英国	8.7%	4.2%
中国	-	3.7%
フランス	4.7%	2.9%
日本	7.9%	6.4%

出所) 世界取引所連盟などから筆者作成





# 日経平均が30000円の壁を突破するには (P.11)

PER (株価収益率) = 株価 ÷ EPS (1株当たり利益)

2,100.07	PER→	EPS	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5	15.0	15.5
入力欄(下限)	↓	0	0	0	0	0	0	0	0
-7.1%		1950	24,375	25,350	26,325	27,300	28,275	29,250	30,225
-6.0%		1975	24,688	25,675	26,663	27,650	28,638	29,625	30,613
-4.8%		2000	25,000	26,000	27,000	28,000	29,000	30,000	31,000
-3.6%		2025	25,313	26,325	27,338	28,350	29,363	30,375	31,388
-2.4%		2050	25,625	26,650	27,675	28,700	29,725	30,750	31,775
-1.2%		2075	25,938	26,975	28,013	29,050	30,088	31,125	32,163
0.0%		2100	26,250	27,300	28,350	29,400	30,450	31,500	32,550
1.2%		2125	26,563	27,625	28,688	29,750	30,813	31,875	32,938
2.4%		2150	26,875	27,950	29,025	30,100	31,175	32,250	33,325
3.6%		2175	27,188	28,275	29,363	30,450	31,538	32,625	33,713
4.8%		2200	27,500	28,600	29,700	30,800	31,900	33,000	34,100
5.9%		2225	27,813	28,925	30,038	31,150	32,263	33,375	34,488
7.1%		2250	28,125	29,250	30,375	31,500	32,625	33,750	34,875
8.3%		2275	28,438	29,575	30,713	31,850	32,988	34,125	35,263
9.5%		2300	28,750	29,900	31,050	32,200	33,350	34,500	35,650
10.7%		2325	29,063	30,225	31,388	32,550	33,713	34,875	36,038
11.9%		2350	29,375	30,550	31,725	32,900	34,075	35,250	36,425
13.1%		2375	29,688	30,875	32,063	33,250	34,438	35,625	36,813
14.3% (上昇率)		2400	30,000	31,200	32,400	33,600	34,800	36,000	37,200

日経平均が30000円を達成する場合のPERとEPSの組み合わせ例です。どの組み合わせであれば達成可能かを見ることができます

本件の対外公表は  
12月14日(水) 8時50分

2022年12月14日  
日本銀行調査統計局

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート (全規模・全産業)

		2021年度		2022年度			
		上期	下期	上期	下期		
米ドル円 (円/ドル)	2022年6月調査	111.23	109.33	113.13	118.96	118.79	119.12
	2022年9月調査	-	-	-	125.71	124.98	126.43
	2022年12月調査	-	-	-	130.75	129.19	132.31
ユーロ円 (円/1-0)	2022年6月調査	128.85	128.36	129.33	131.60	131.55	131.65
	2022年9月調査	-	-	-	134.15	134.01	134.29
	2022年12月調査	-	-	-	136.51	136.09	136.93

日本経済新聞社では各225採用銘柄の業績予想から日経平均の予想EPSを出しています。直近のピーク2022年11月14日の**2238.87**から**138円**下げています。PER**13倍**で**1794円**の下げ要因です

日銀12月短観の円ドル下期の想定は**132.31**です。今後の円ドルレートによって企業業績は、かなり上下する可能性があります(注:ユーロ円も同様です)

出所) オプション倶楽部『リスク管理エクセルシート』から筆者作成  
(2023年2月20日の日経平均予想EPS: 2100.07)



# NT倍率とPBRに注目 (P.12)

NT倍率 = 日経平均 ÷ TOPIX (東証株価指数)



近年では、NT倍率が低下するとき、日経平均は下げ基調になると個人的には考えています



日経平均の予想PBR (株価純資産倍率) 推移       $PBR = \text{株価} \div \text{BPS}$  (1株当たり純資産)



日経平均のPBR 1倍割れは一概に買い場とは言えません。企業の資産価値は机上の算定です。実勢価格を反映していない可能性もあるからです

出所) 日本経済新聞から筆者作成(2023年2月20日現在)



# 日経225OPとは (P.13)

## ①日経平均を「\*\*\*円で売れる／買える権利」の取引

- ◆ **CALLオプション**= 満期日に\*\*\*円（権利行使価格）で買える権利
- ◆ **PUTオプション**= 満期日に\*\*\*円（権利行使価格）で売れる権利

OP市場では、各\*\*\*円（権利行使価格）のCALLとPUTが  
権利料をプレミアム（OP価格）として満期日（SQ日）前日まで取引できる

[👉P14]

## ②225OPの買いと売り

### ◆ OPの買い方

権利を買う = 権利を行使・放棄できる → **プレミアムを支払う**

**収益は決済するまで未確定**

**最大損失は買ったときに支払ったプレミアムで確定**

### ◆ OPの売り方

権利を売る = 権利を行使されたら応じる義務がある（≒保険会社） → **証拠金を差し入れる**

**最大収益は売ったときに受け取ったプレミアムで確定**

**最大損失は日経平均次第であるため未確定** [👉P15]

# 日経225OPの権利行使価格とプレミアム（OP価格）例（P.14）

参考価格情報	現在値	前日比	騰落率	HV
日経平均株価 (日経225)	27,513.13 (02/17 15:15)	-183.31	-0.66%	13.58%
日経225先物 (23年03月限)	27,510 (02/18 06:00)	+50	+0.18%	13.57%

3月限月 4月限月 6月限月

取引日 2023/02/20 取引最終日 2023/03/09

全てのリスク指標を表示
全てのリスク指標を閉じる

オプション価格計算ツール リスク指標の見方はこちら

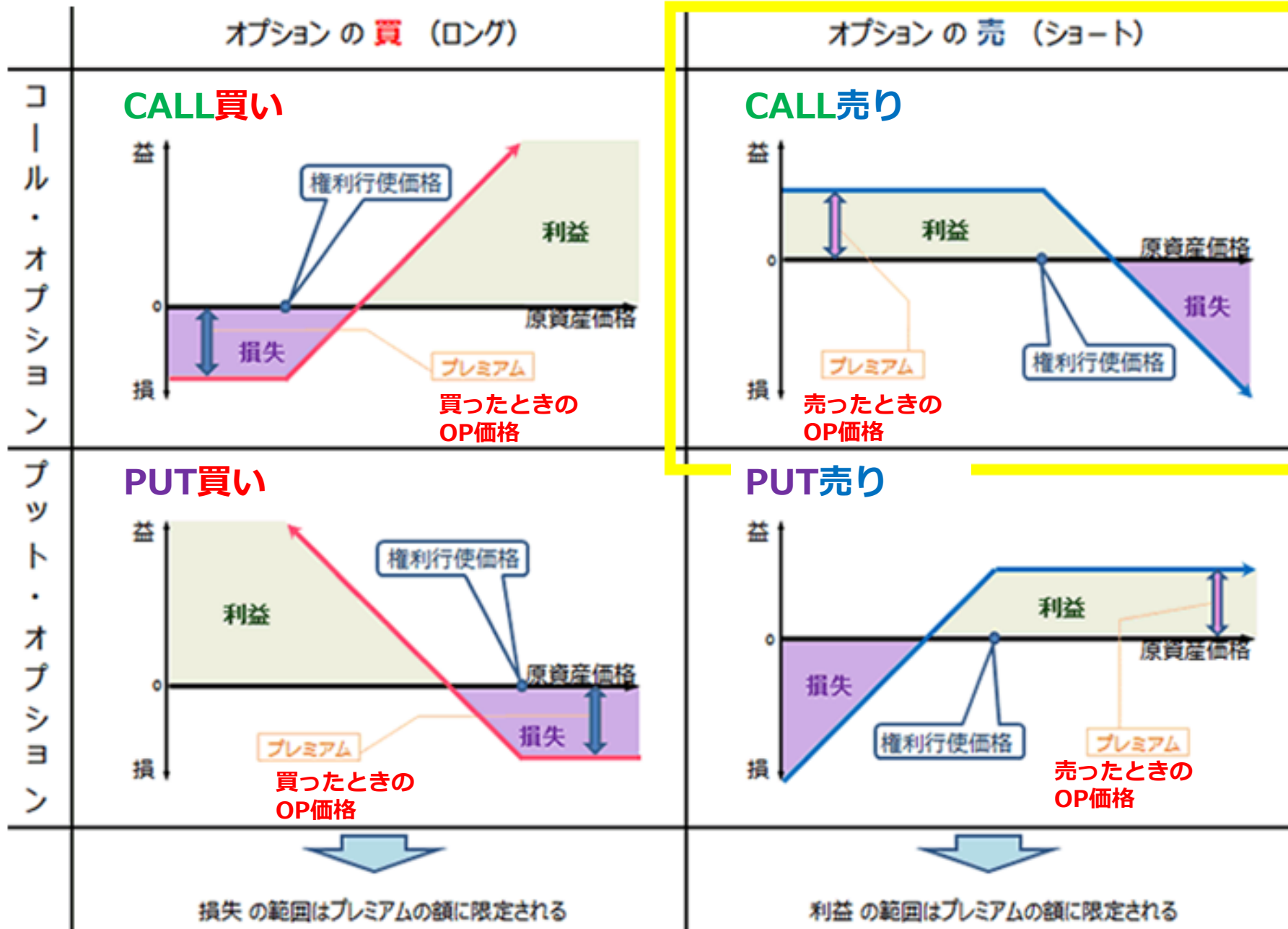
CALL								権利行使 価格	PUT							
清算値 02/17	建玉残	取引高	売気配IV 買気配IV	売気配(数量) 買気配(数量)	IV	前日比	現在値		現在値	前日比	IV	売気配(数量) 買気配(数量)	売気配IV 買気配IV	取引高	建玉残	清算値 02/17
100	1,367	149	11.62%	- (-) 92 (1)	12.37%	0	100	28,125	-	-	-	930 (1) 1 (40)	21.17%	-	60	765
135	9,907	313	13.39% 11.82%	160 (3) 125 (2)	11.82%	-10 -7.41%	125	28,000	-	-	-	750 (1) 1 (167)	17.22%	-	3,945	675
170	1,013	57	- 10.94%	- (-) 140 (1)	12.75%	-5 -2.94%	165	27,875	-	-	-	- (-) 1 (40)	-	-	48	585
210	2,369	107	34.81% 9.88%	800 (1) 155 (1)	12.57%	+10 +4.76%	220	27,750	475	-35 -6.86%	12.44%	2,100 (1) 165 (1)	74.74%	6	3,007	510
270	815	15	22.78% 1.42%	540 (1) 4 (30)	12.81%	0	270	27,625	400	0	12.55%	- (-) 1 (40)	-	6	430	435
330	8,703	105	37.84% 9.12%	995 (1) 240 (1)	13.01%	+20 +6.06%	350	ATM 27,500	350	-10 -2.78%	13.12%	440 (1) 210 (1)	16.73% 7.98%	198	7,629	360
400	424	18	- -	- (-) 4 (20)	13.87%	+30 +7.50%	430	27,375	325	+15 +4.84%	13.33%	- (-) 4 (20)	- 1.43%	71	1,120	310
465	1,081	23	- 8.73%	- (-) 375 (1)	13.40%	+10 +2.08%	490	27,250	250	-5 -1.96%	13.65%	340 (1) 170 (1)	17.34% 10.59%	96	3,372	255
555	76	-	- -	- (-) 4 (20)	-	-	-	27,125	225	+5 +2.27%	13.90%	410 (1) 4 (20)	22.14% 3.36%	53	998	220
645	6,083	3	- -	- (-) 250 (1)	14.24%	+25 +3.88%	670	27,000	165	-20 -10.81%	13.92%	210 (1) 150 (2)	15.83% 13.19%	646	8,761	185
740	308	-	- -	- (-) 4 (20)	-	-	-	26,875	140	-15 -9.68%	14.36%	380 (1) 100 (1)	24.80% 12.30%	40	1,257	155
835	472	1	- -	- (-) -	14.90%	-155	810	26,750	115	-10	14.65%	140 (1) -	15.82% -	163	3,221	125

オプションには期限があります。2023年3月限月は2023年3月10日が満期日となる権利です。この満期日はSQ日と呼ばれています



権利行使価格の選択はポイントのひとつです

# OPの単独 4 戦略と損益曲線 (P.15)



損益曲線が  
ナイト  
桂馬  
の動き



## 日経225OPとは (P.16)

### ③ 権利を行使できるのは満期日だけ (ヨーロピアンタイプ)

満期日までは買い方も売り方もプレミアム (OP価格) による反対売買で決済ができる

満期日に買い方がその権利を行使できる (\*\*\*円に届く) ……

→見込みが高くなるほど、その権利行使価格のプレミアムは上昇しやすい

→見込みが低くなるほど、その権利行使価格のプレミアムは低下しやすい

(満期日に見込みゼロとなれば、プレミアムは0円となる) [📄P17]

### ④ 満期日に日経平均を実際に権利行使価格で買える / 売れるわけではない

満期日に現物株市場で各225銘柄に付いた始値からSQ (特別清算値) を計算

#### ◆ 満期日のOP買い方 = 支払ったプレミアムが損失

権利を行使したら利益が出ない場合 = 権利放棄

権利を行使したら利益が出る場合 = SQと権利行使価格の差額が利益となる

#### ◆ 満期日のOP売り方 = 受け取ったプレミアムが利益

権利を行使されない場合 = 利益確定

権利を行使された場合 = SQと権利行使価格の差額が損失となる

[📄P18]

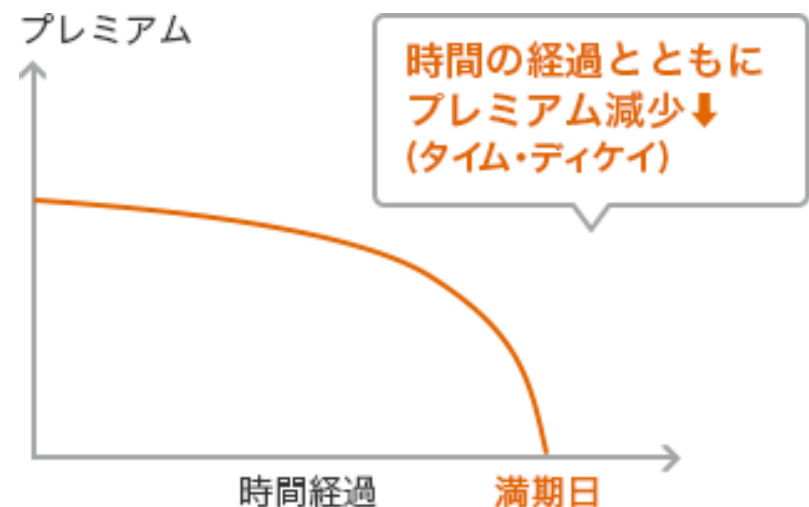
## 時間的価値 (P.17)

本質的な価値のあるものに投資するのが基本



OP価格は

- 本質的価値と**時間的価値**に分解される
- **時間的価値は、満期日にゼロとなる**



# 売坊流売り戦略と買い戦略 (P.18)

## <CALL売り戦略>

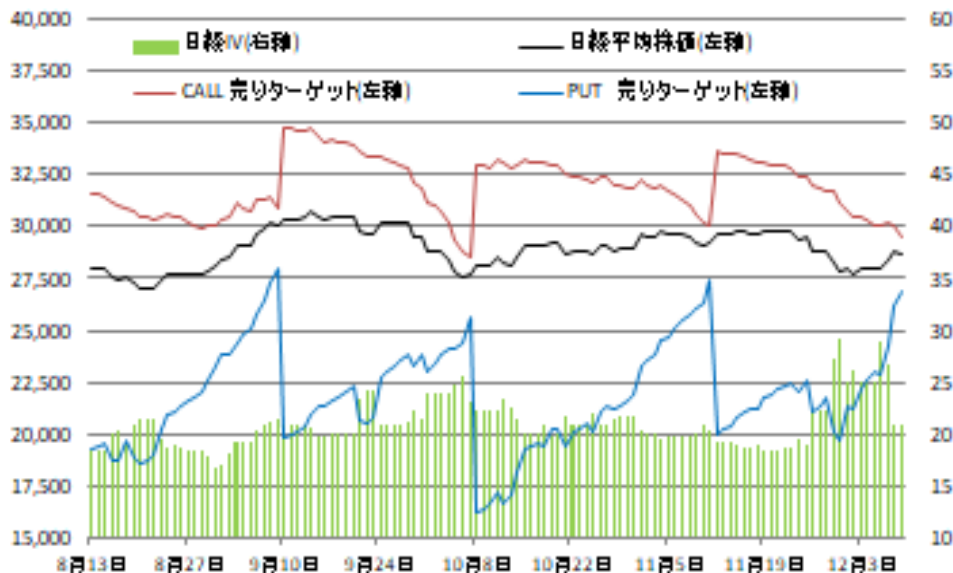


- ☆ SQ日に権利失効するまでの中期戦略
- ☆ 高確率に賭ける
- ☆ 安定的なキャッシュ・フローを生み出す
- ☆ 時間価値が時間の経過とともに減少
- ☆ 日本のインフレ率はまだ低い

## <OP買い戦略>



- ☆ 数時間～数日で売り手仕舞う短期戦略
- ☆ リスク限定戦略（損失限定）
- ☆ イベント・リスクの逆張り
- ☆ グレイ・リノを味方に
- ☆ 2倍、5倍、10倍も期待できる



出所) ブルームバーグより筆者作成

出所) 楽天証券「マーケットスピード」より筆者コメント挿入

## なぜ日経2250PではCALL売りなのか (P.19)

- 人口減少、国際競争力の低下が顕著
- 日本の物価上昇率は低い（株価は名目値）  
【3%】  $1.03^{10} = 1.3439$     【0.5%】  $1.005^{10} = 1.0511$
- **暴落**は予見しにくい（したがって**PUT売りは非常に危険**）  
しかし、暴騰は相対的に予見しやすい
- 年金は**株式**でも運用されている
- 株価上昇時はボラティリティが下がることが多い

日経平均の上昇時にボラが下がることが多いのは、過去の経験則でもあります。また、OPを保険と考えた場合、株価が下がると「危険度が高まった」と考える人が多く、保険料が上がります。その結果、保険料（OP価格）から逆算したボラ（IV=インプライド・ボラティリティ）は上がります。一方、株価上昇は「危険度が減った」と考える人が多くなり、ボラは下がる傾向にあります





# CALLの例 (P.20)

銘柄	日経225オプ	限月	23-03	検索			
建玉	出来高	売気配	買気配	I V	前日比	コール	行使価格
8681	103	375	365	12.95	-90	365 ↓	27500
810	90	310	300	12.67	-75	305 ↓	27625
2352	340	250	240	12.48	-65	245 ↓	27750
1005	65	200	190	12.42	-45	205 ↑	27875
9989	1740	155	150	12.45	-35	160 ↑	28000
1033	192	120	115	12.22	-30	125 ↑	28125
4384	664	91	89	12.22	-23	92 ↓	28250

銘柄	日経225オプ	限月	23-03	検索			
建玉	出来高	売気配	買気配	I V	前日比	コール	行使価格
2609	20	3	2	13.89	-1	3 ↓	29750
119	41	3	2	13.39	-1	2 ↓	29875
6774	130	2	1	14.38	0	2 ↓	30000
385	45	2	1	13.35	0	2 ↓	30125
792	4	2	1	14.51	0	2 ↓	30250
4708	81	1		15.32	-1	1 ↓	30500

現在値からかなり離れた権利行使価格のオプションでも売買が成立していると分かります

時刻	出来高	約定値
10:35:52	1	160
10:31:36	1	160
10:30:03	2	160
10:25:55	29	155
10:23:10	27	155
10:23:10	45	155
10:22:48	1	155
10:22:38	1	155
10:20:36	2	155
10:13:52	4	155
10:10:02	1	155
10:08:20	4	150
10:03:07	5	155
10:03:01	3	155
10:02:44	1	155
09:58:47	1	150
09:58:19	1	150

日経225オプション 23-03 コール 28000 大阪	
23-02-17	
現在値 ↑	160 10:35:52
前日比	-35 -17.95%
前日終値 C	195 23-02-16
建玉	9989 23-02-16
建玉前日比	-405
歩み 1	155 10:25:55
歩み 2	150 10:08:20
歩み 3	155 10:03:07
歩み 4	150 09:58:47
VWAP	157.8591
出来高	1740
売買代金	274675
限月高値	1505 22-09-09
限月安値	56 23-01-16
I V	12.18

売数量	値段	買数量
	成行	
1	215	
3	200	
32	195	
46	190	
45	185	
188	180	
245	175	
419	170	
444	165	
82	160	
	155	187
	150	443
	145	253
	140	175
	135	159
	130	136
	125	81

# 2023年5月から日経225ミニOPなどが取引開始（P.21）

【参考】日経平均株価を対象とした商品ラインナップ（2023年度第1四半期（予定）以降）

先物商品	取引単位（1枚あたりの取引想定元本（※））
日経225先物	1,000円（3,000万円）
日経225mini	100円（300万円）
日経225マイクロ先物	10円（30万円）

※ 括弧内の取引想定元本は日経平均株価が30,000円するとき

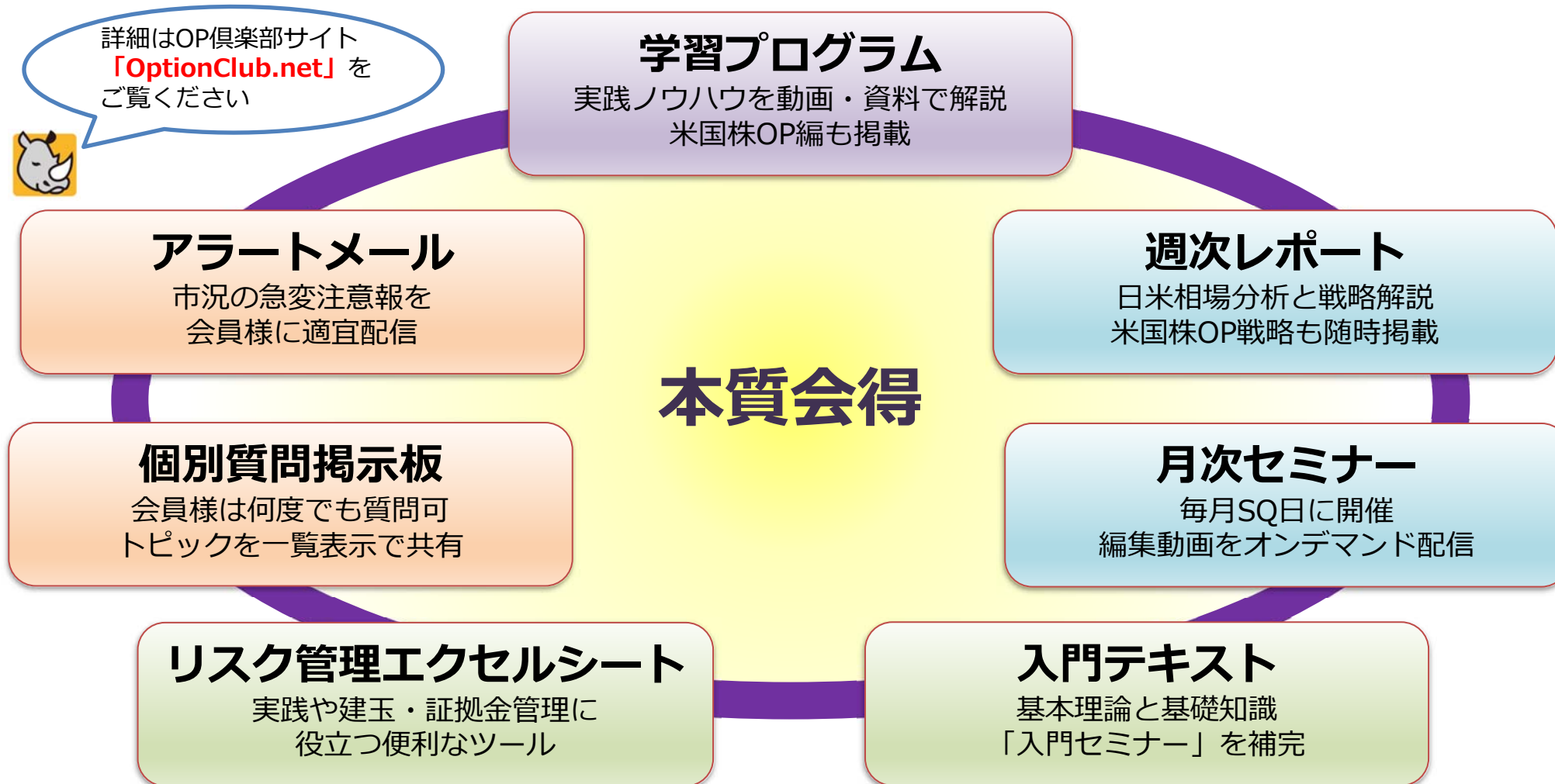
オプション商品	取引単位	限月設定
日経225オプション	1,000円	通常限月
日経225ミニオプション	100円	通常限月及び週次設定限月

出所) <https://www.jpx.co.jp/news/2040/20220617-01.html>

ミニOP（100倍）を買った場合、支払うプレミアムはラージ（1000倍）の10分の1となります。例えば、あるPUTの価格が10円だったとき、ラージを買うときは10000円のプレミアムを払うのに対して、ミニを買うときは1000円で済むわけです（ただし、それぞれ手数料+消費税もかかります）



# OP売坊戦略コース「7つのコンテンツで本質会得をサポート」 (P.22)



詳細はOP倶楽部サイト  
「[OptionClub.net](http://OptionClub.net)」を  
ご覧ください



**入門セミナーは「第一歩」として重要**なので編集版  
を会員様ページで視聴できるようにしてあります。  
さらに、毎月のラジオ出演と補足QA、そしてブログ  
とツイッターで情報（材料）をご提供しています



新規会員期間は6カ月です。その後  
も継続会員様になっていただくこと  
で引き続きご利用いただけます

# OP売坊の重要視しているもの (P.23)

確率・勝率・収益率

資産管理・  
リスク管理

オプションは面白い



パターン分析  
(時系列  
・分布)

簡単・  
シンプル

次回は**3月22日**に出演  
させていただく予定です。  
本資料は**番組HP**または  
**オプション倶楽部**  
([optionclub.net](http://optionclub.net)) から  
無料メルマガ「**グレイ・リノ通信**」にメアド  
をご登録いただくと取得  
できます。メルマガでは  
放送をさらに楽しんでい  
ただくための**補足Q&A**  
などの情報を配信してお  
りますので、ぜひぜひお  
気軽にご登録ください！  
質問も募集中です！



質問大募集 →

<http://trs.jp/r/op-form>





---

**最後までご清聴、誠にありがとうございました。**

**講師ブログ『実践日経オプション教室』**

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

**講師ツイッター『OP売坊@OP49431790』**

<https://twitter.com/OP49431790>

**Copyright © 2019-2023 日経OP売坊**

**All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.**